



## 花ややさいの栽培を通して学ぶこと

登校日の朝、お父さん、お母さんと一緒に登校してくる子どもたち。「しっかり挨拶をしなさい」と促される子もいますが、日増しに「朝のあいさつ」が出来るようになってきました。5月も半ば、補習校生活にも随分慣れてきたようです。

この頃になりますと、日本の小学校では、校庭の学習園で花や野菜の種まきや苗を植える活動をします。ここマイアミで、現地校やご家庭で、子どもたちは、植物や野菜を育てる活動をどのようにしているのでしょうか。先週の全校朝礼で、校長の話として「はな・やさいを育てる」をとりあげてみました。

この時期、小学1年生は、一人一鉢で朝顔の種まきをし、小学2年生ではひまわりの種まきをします。子どもたちは、ペットボトルに水を入れて水まきをするのが日課です。また、3学年になるとミニトマト、きゅうり、とうもろこし等の野菜の苗を植え、4年生ではヘチマの苗やジャガイモの種いもを学習園に植えます。高学年は、葉が一面に茂ると教室の室温を下げる効果があるゴーヤを教室の窓際に植えて環境の学習をします。土をさわり、耕し、水やりや支柱建て、間引き等の世話をし、観察記録をつけ、成長の過程を学びながら、「きれいな花が咲く、大きな実がなる」喜びを味わう体験をします。私は、「種をまく」「苗をうる」「世話をする」の3つを説明しながら、花や野菜を育てるための話を進めました。我が家の庭のポットで育てた朝顔やオクラの苗を見せて説明をしたのですが、日本と気温や土壌の違うマイアミで、土いじりの経験がなければ、育てる作業も世話をする苦労もピンと来ない話だったかもしれません。

話の最後に、トマトの苗を見せながら「土にトマトの苗を植える時は、苗をまっすぐに植えないで



斜めに植えるのです」と説明しました。子どもの中には、太陽と関係があることを気づいている子もいました。ひまわりが太陽のほうに向いて大輪を咲かせるように、斜めに植えた苗が太陽に向かってぐんぐんと元気良く伸び、茎が丈夫になっていくことに触れました。愛情を持って世話をすることの大切さを話したつもりでしたが、子どもたちには伝わったでしょうか。

(1 分間スピーチも大きな経験) この話をきっかけに植物の成長に興味、関心を持ち、種をまき、苗を育てようとする子、又、図書室の本やインターネットで植物に関心を持つ子どもが出てくれば幸いです。

本日は今年度最初の「朝の読書日」です。一人読みや読み聞かせを通して「本はともだち」とどの子も多くの本に親しむようになってほしいです。教室の読書風景が楽しみです。



(この日の掲示板)